

PUR

ポリウレタン樹脂

(Polyurethane Resins)

別名	ウレタン樹脂
概要	<p>ポリウレタン全生産量の約3/4はポリウレタンフォームであるが、ここではフォーム以外の成形材料としてのポリウレタン樹脂について述べる。</p> <p>ポリウレタンはもともとエラストマーとして世に出ただけに、エラストマーとして優れた特性を持ち、特に「金属とゴムとのギャップを埋めるもの」として特異な性質、用途を持っている。一般に硬度を高くも低くもできるうえ、高硬度に於いても弾力を失うことはなく、その他耐摩耗性、引張り強さ、引裂き強さ、耐薬品性が優れている。加工法についてもRIM及びLIMの活用から新しい用途分野も開けている。</p>
原料	<p>イソシアネート成分:トルレンジイソシアネート、ジフェニルメタンジイソシアネート、ヘキサメチレンジイソシアネート及びそれらの誘導体等</p> <p>ポリオール成分 :ポリエーテルポリオール、ポリエステルポリオール 等</p>
製法	<p>イソシアネート(アミンをホスゲネーションすることによりイソシアネートする。)とポリオール成分を反応させ、ワンショットで樹脂化する場合と、イソシアネートとポリオールとによりプレポリマーを製造し、末端イソシアネート又は末端アルコールのプレポリマーを更にグリコール、アミンまたはポリイソシアネートで反応、成形するプレポリマー法とがある。</p>
荷姿	石油罐 ドラム罐 ローリー
規格	JIS K 7312-96 (熱硬化性ポリウレタンエラストマー成形物の物理試験方法)
性状	一般に原液は1～数千ポイズ(一部はワックス状)程度の粘ちよう液体で供給される。
成形加工法	注型を主とする。
用途	リットタイヤ、大型ロール、印刷用ロール、各種緩衝材、機械部品、各種ライニング
製造・販売業者	<p><成形材料> エッチ・アンド・ケー 日新レジ 日本ポリウレタン工業 (2014年10月1日より東ソー(株))</p>
備考	<p>既存化学物質 (7)-857 ~ 869 (7)-2063 (7)-2066~2070 (7)-2077~2085 輸出(入)統計品番号 3909.50-000(塊、粉、粒、フレーク3909.50-010, その他3909.50-090)</p>